

暮らしを豊かに、夢ワイドな

うごしんきんの

個人ローン

カードローン
カーライフプラン
教育ローン
住宅ローン
リフォームローン



年金のお受取りは、

うごしんきん

での自動受取りが
便利で確実です。



インターネット・モバイル バンキングサービス

簡単・便利・確実
だから安心やってみよう！



外出先からでも
携帯電話で！



ご自宅からでも
パソコンで！

- ▶ご自宅のパソコンやポケットの中の携帯電話がATMがわりに。
- ▶デビットカードご利用時の残高照会に。
- ▶振込や振替に。
- ▶ネットで定期預金がつくれます。
(ブラウザ端末のみ)
- ▶入出金明細をご利用の家計簿ソフトや経理ソフト
に取込みできます。



地域と共に、あなたと共に。

羽後信用金庫

秋田県由利本荘市大町32番地 TEL0184-23-3000 (代表)
URL : <http://www.ugoshinkin.jp/>

2011 Mini Disclosure

羽後信用金庫の現況



羽後信用金庫



だから

あんしん!

なっとく!

自己資本比率は どれくらい?

平成23年3月末現在の自己資本比率は

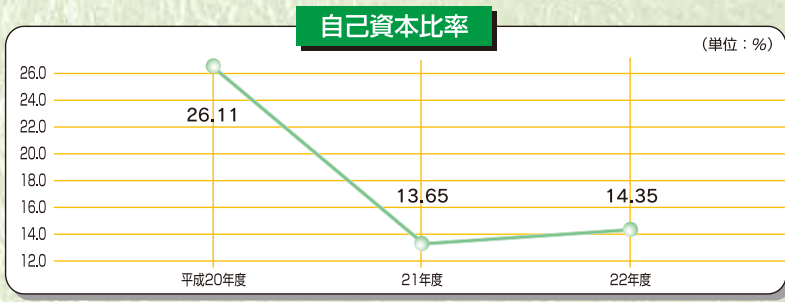
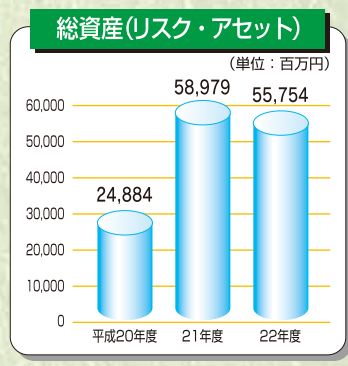
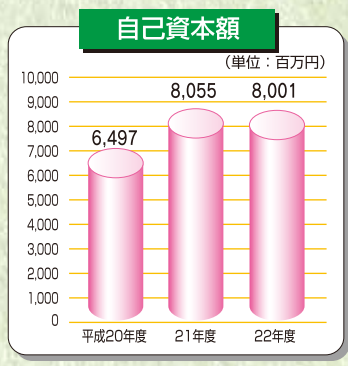
14.35%

です。

式で表わしますと

$$\frac{\text{自己資本額 } 80\text{億}1\text{百万円}}{\text{リスク・アセット } 557\text{億}5\text{千}4\text{百万円}} \times 100 = 14.35\% \text{ です。}$$

自己資本比率の推移



自己資本比率の算出方法
自己資本比率は、自己資本額を分子とし、総資産を分母として算出いたします。分母となる総資産(リスク・アセット)は、資産ごとの回収リスクに応じて算出することになっており、一般の貸出金は分母に全額入りますが、現金や国債などの回収リスクの少ない資産は分母に入れなくてもよいことになっております。



あんしんなわけ
平成23年3月期のうごしんきんの自己資本比率は14.35%で、国際基準の8%を大きく上回り、国内金融機関が健全性の基準とする4%の3倍以上となっており、トップレベルの高い水準を維持しています。

自己資本の重要性
金融機関は、預金や自己資本を資金調達の源泉とし、貸出金や有価証券などの資産を保有・運用しております。預金などは将来必ず支払うべきものですが、運用している資産に貸倒れなどの損失が大量に発生しますと、お預かりしている預金の支払いができなくなる可能性があります。自己資本は、このような損失の発生に対する蓄えとしての役割を果たしてくれるもので、自己資本比率が高いことは、損失の発生のある資産に対して自己資本という蓄えを多く持っており、安全性が高いこととなります。

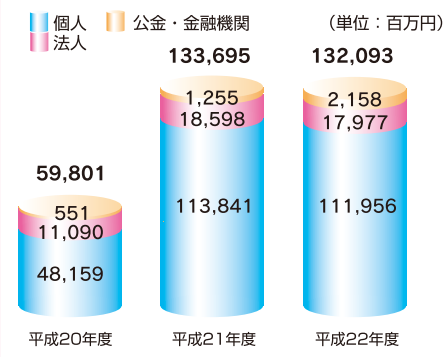


うごしんきんの業績は どうなってるの？

預金・貸出金の推移

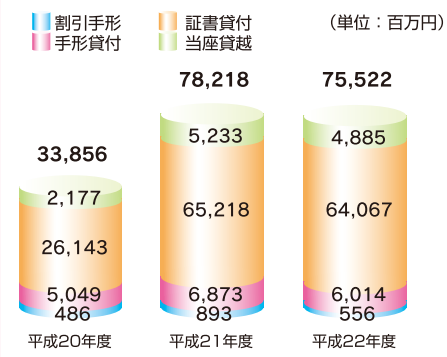
預金

公金・金融機関預金は約9億3百万円増加しましたが、個人預金・法人預金が大きく減少（約25億6百万円）したことで、昨年度比では16億2百万円減少（減少率は1.19%）し、預金残高は1,320億93百万円となりました。



貸出金

貸出金は地公体向け等の法人向け融資が増加しましたが、設備資金需要の低迷により昨年度より26億96百万円減少（減少率は3.44%）し、貸出残高は755億22百万円となりました。



収益

収益は、貸出金の減少により資金運用益は減少しましたが、徹底した経費削減に努め、当期純利益は昨年度より14億56百万円増加（増加率は104.86%）し、67百万円となりました。

科目	平成20年度	平成21年度	平成22年度
経常収益	1,527	2,902	3,212
経常利益 (△は経常損失)	206	△1,104	174
業務純益	240	914	756
当期純利益 (△は当期純損失)	113	△1,388	67

うごしんきんの不良債権の 状況はどうなってるの？

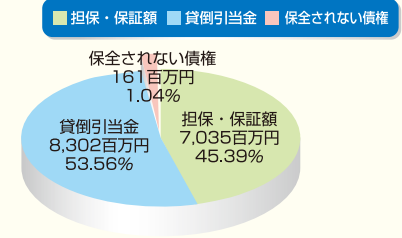
金融再生法に基づく資産査定状況

厳格な自己査定を行い、適正な貸倒引当金を計上しており備えは万全です。不良資産に対する割合（保全率）は、98.95%となっています。

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況

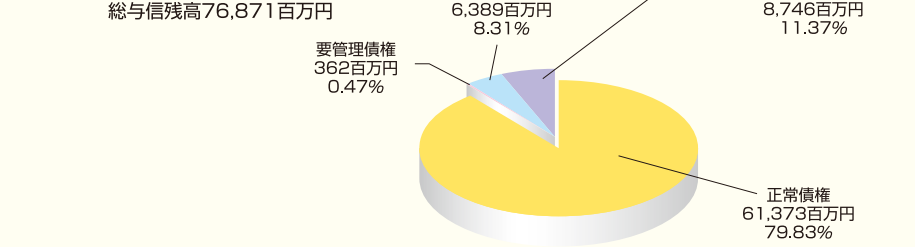
区分	開示残高 (A)	保全額 (B)	担保・保証額		貸倒引当金	保全率 (%) (B) / (A)
			担保・保証額	貸倒引当金		
金融再生法上の不良債権	15,498	15,337	7,035	8,302	98.95	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,746	8,746	1,964	6,781	100.00	
危険債権	6,389	6,228	4,865	1,362	97.47	
要管理債権	362	362	204	157	100.00	
正常債権	61,373					
合計	76,871					

保全状況



- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
 3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。
 4. 「正常債権」とは、債権者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。
 5. 「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

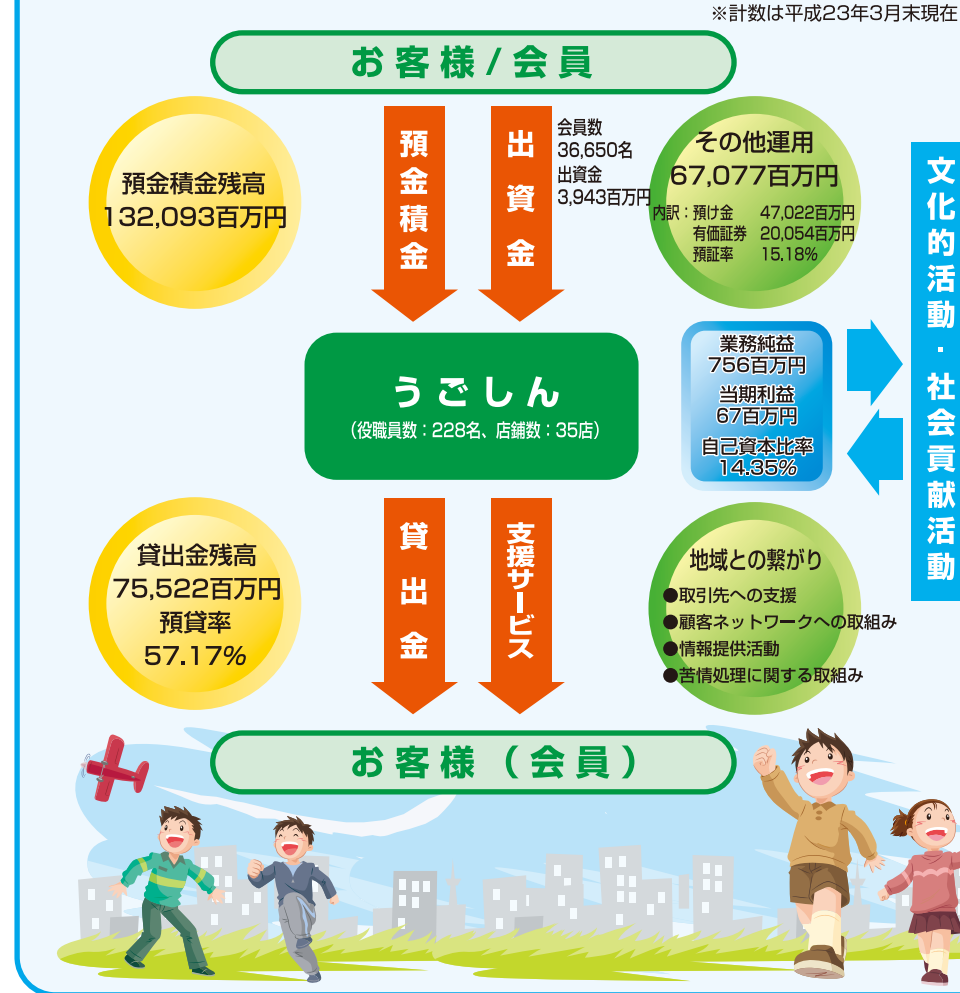
総与信に占める各債権の割合



うごしんきんと地域社会との 関わりは？

うごしんと地域社会 地域と共に、あなたと共に。

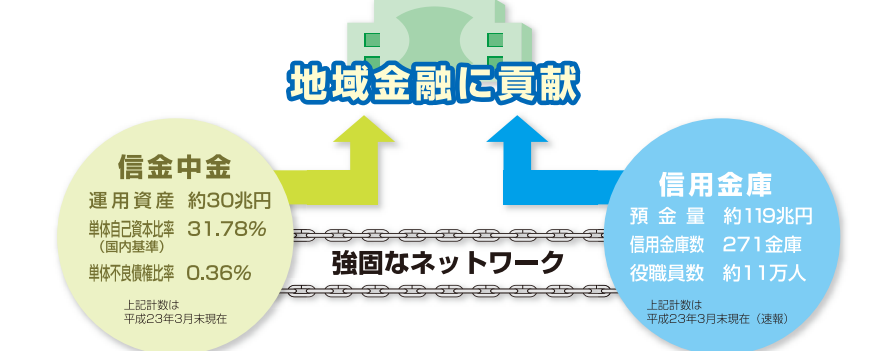
当金庫は、地元で事業を営んでいる方々や住民の皆様が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄をお手伝いするとともに、地域社会の一員として地元の中企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域社会の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



“ビックバンク” 信金中央金庫と 信用金庫はどのような関係ですか？

信金中央金庫 ~信用金庫のセントラルバンク~

信金中央金庫(信金中金)は、全国の信用金庫を会員とする協同組織形態の金融機関で、信用金庫の中央金融機関として昭和25年に設立されました。信金中金は、「個別金融機関」と「信用金庫のセントラルバンク」という2つの役割を併せ持つ金融機関であり、平成23年3月末現在の資金量は、信用金庫から預けられた資金と金融債を発行して調達した資金等を合わせて25兆9,217億円にのぼっています。信金中金は、わが国有数の規模を有する金融機関であり、数少ない金融債発行機関でもあります。



個別金融機関としての役割	信用金庫のセントラルバンクとしての役割
<ul style="list-style-type: none"> ■機関投資家としての役割 30兆円にのぼる巨大な運用資産 ■総合金融サービス提供機関としての役割 信金中金グループとして総合的な金融サービスを提供 ■地域金融機関としての役割 地公体向け融資・PFI・代理貸付など 	<ul style="list-style-type: none"> ■信用金庫の余裕資金の効率運用 ■信用金庫の業務機能の補完 融資業務・市場関連業務・決済業務・国際業務付随業務・信用金庫取引先の経営改善支援等 ■信用金庫業界の信用力の維持・向上 経営相談、ALM・リスク管理支援、情報提供等

総合力で地域金融をバックアップ		邦銀トップクラスの格付	
信託・証券業務	金融関連業務	格付機関	長期格付
株しんきん信託銀行	信託・証券業務	ムーディーズ (Moody's)	Aa3
しんきん証券株式会社	金融関連業務	スタンダード&プアーズ (S&P)	A+
信託・証券業務	金融関連業務	格付投資情報センター (R&I)	A+
信託・証券業務	金融関連業務	日本格付研究所 (JCR)	AA

平成23年3月末日現在